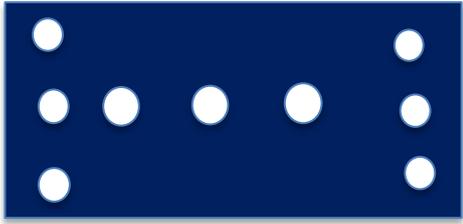


所属団体名 <small>(〇〇県〇〇市立〇〇中学校 〇〇発明クラブ)</small>	茨城県つくば市立谷田部東中学校 科学部
ふりがな	なんだっけ
チーム名	ナンダッケ
ロボコンルール名称 <small>(URL https://・・・)</small>	ルールの名称 (部門) 等：基礎部門 (https://drive.google.com/file/d/13cdeaxM_u3sHkA8m8RGnve-bEG_MH5_k/view)
製作期間	西暦 2025 年 7 月頃 ~ 西暦 2025 年 10 月頃
製作時間 <small>(構想から試作完成までの 全ての時間)</small>	165時間
ロボットに関する写真と図 <small>必ず、ロボットの概要や機構等の特徴がわかる写真や図等を、1~4枚程度で掲載しましょう。</small> <small>写真や図に記号等を書き込み、この下の枠「ロボットのアイデア概要」で解説しましょう。</small>	 <p>←は作り直しました。 大会で使用した機体は諸事情により破損してしまったので 下の図は、機体に施した肉抜き例です↓</p> 
ロボットのアイデア概要 【報告書要約】 どのような動きを実現するために、具体的にどのような素材や機構を用いて実現したのか説明してください。	本機体では、車体の重量をできる限り軽量化することで、素早い動作と高い機動性の実現を目指しています。 軽量化により、最高速度が若干向上し、大会中において迅速な対応が可能になります。また、モーターへの負荷も減少します。 また、車体構造を簡単にすることで部品点数を削減し、故障の発生を抑える工夫を行っています。 これにより、整備や点検作業を短時間で行うことができ、限られた準備時間や壊れた時のピットインでの時間を有効に活用できます。 整備性の向上は、大会期間中の安定した運用にもつながります。 以上の理由から、本機体は機動性と整備性の両立を重視した設計となっています。 しかし我々の技術が足りずアームの安定性が足りず得点を稼ぐことがほとんどできませんでした。
参考資料 <small>製作上参考にしたロボット等の情報を文章とURL等を用いて掲載しましょう。</small>	なし

※参考資料が書かれていないなど、未記入の項目がないようにしましょう。

※報告書の2枚目以降にさらに詳しく自由フォーマットで記入しましょう。この表紙を入れて6枚以内で報告書をお願いします。

※この報告書は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスの下に提供されます。 <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed>.